

わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

2012年
10月1日
第35号
Vol.11 No.2

頭頸部がんについてのお話

和歌山労災病院耳鼻咽喉科部長 横山 道明



耳鼻咽喉科で扱うがんは頭頸部がんと呼ばれ、眼窩内を除く、鎖骨から頭蓋底にいたる領域に発生する喉頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がん、舌がん、上顎がん、悪性リンパ腫などがあります。当科での初診患者は年間約80人で、発生頻度は男性に多く、喫煙、過飲酒がその発がんに関与しているのが特徴です。最近では若年者において中咽頭がんの発症にヒトパピローマウイルスの関与が証明され、検討が行われています。我が国では現在、2人に1人ががん罹患し、3人に1人ががんで死亡すると言われていますが、頭頸部がんに関しては年間2万人が発症し、年間約9千5百人が死亡しています。生存率は約50%で、決して治療成績は良くありません。全がんに対する割合は5%で、世界で6番目に多いがんですが、同様の死亡数の乳がんや婦人科領域のがんと比べ一般的認識度が非常に低いのが現状です。患者団体の社会的活動や乳がんのようにメディアの取り上げが大きく影響していると考えられます。県には喉頭摘出術を受けられた患者の会、和喉会があり、県立医大、日赤、紀南支部に分かれ、術後の発声訓練や生活支援などの活動を行っています。喉頭摘出者は全国に3万5千人で和歌山県では130人ですが、社会的認知度が少ないのが問題となっています。この夏、和歌山県立医大の1年生の臨床実習、early exposureが病院で1ヶ月間行われました。耳鼻咽喉科では頭頸部がんで闘病を行っている数多くの患者に接し、驚きと共に認識を新たにしました。

頭頸部がんの治療においては発声、嚥下、呼吸など、人として生きるための機能や整容をなるべく損なうことなく手術や放射線治療、化学療法を行わなくてはなりません。このため、手術では腫瘍切除と同時に再建が必要で、術後の機能障害を最小限にすることが求められます。当科では過去7年間に226例の頭頸部がん手術を行い、平成23年度は58例でした。腫瘍摘出とともに再建を行ったのは下咽頭がんが最も多く、喉頭、下咽頭、頸部食道の摘出後、6例に小腸（空腸）を頸部に移植して下咽頭の再建を行いました。再建を必要とする頭部がんの手術は長時間の手術となり微小血管吻合など形成外科的な技術と、チーム手術のためのマンパワーが必要です。昨今外科医の減少が指摘されていますが耳鼻咽喉科医も例外ではなく、県内で頭頸部外科手術のできるのは数施設しかありません。頭頸部がん専門医を育てる制度が日本頭頸部外科学会で始まり、平成22年に初めての専門医認定試験が行われました。当科でも1名が暫定指導医の資格を得、さらに専門医研修施設認定に向かって準備をしています。数の少ない頭頸部外科医を有効に活用するには連携が重要です。当院は現在県のがん診療連携推進病院として登録されています。主に胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝臓がんの5大がんがその対象となっておりますが6番目に多い頭頸部がんもパスを作成し県北部の病院と病病連携を行い、医師の交流と患者の共有化を謀って効率の高い治療を目指しています。

頭頸部がんは取り扱い規約策定など最近、全国的標準治療の提案がなされました。しかし、内容的にはまだ十分とは言えません。化学療法、放射線治療、手術、再建の治療法の詳細な検討を行い、50%という低い生存率をいかに向上させるかが大きく重い課題です。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人 労働者健康福祉機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1 TEL.073-451-3181(代)

FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788

(医療連携センター専用FAX)

ホームページ <http://www.wakayamah.rofuku.go.jp/> E-mail info@wakayamah.rofuku.go.jp

和歌山労災病院の理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した先端的医療を提供する

「患者サポートセンター」からのお知らせ

和歌山労災病院は、「地域医療支援病院」として和歌山県下では初の指定を受け地域の医療機関との連携を進め、地域に根ざした病院を目指して日々邁進して参りました。新病院へ移転し早3年が過ぎた今年度、和歌山労災病院における、院内連携及び院外連携に関するすべての業務の窓口、患者様が入院・外来・地域のいずれにおいても適切な医療が提供されるよう調整を行う、及び患者様や患者ご家族様のあらゆる相談を受け、問題解決のための支援を行うことを目的とした「患者サポートセンター」を、正面玄関エントランス内に設け、新たに出発致しました。

患者様及びそのご家族様、そして地域の医療連携の皆様から信頼される「患者サポートセンター」となれるよう努力して行きたいと考えております。

今後とも、ご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



～がん患者サロン「心愛」開催のご案内～

1. 開催日 毎月、第1・第3 金曜日
2. 時間 午後2時 ～ 午後4時
3. 場所 1階 相談室1 (入院受付のとなり)

★ がん患者さん及びそのご家族の方であれば、どなたでもご参加いただけます。スタッフがお待ちしております。お気軽にどうぞ！

【問い合わせ先】 患者サポートセンター
TEL 073-451-3181

「災害拠点病院」について

当院は、平成24年3月に和歌山県から災害拠点病院に指定されました。

「災害時における初期救急医療体制の充実強化を図るための医療機関」として、今後、想定される東海、東南海、南海連動型地震の発生時に多数の傷病者が出た場合、地域の皆様へ平時により近い救急医療レベルを提供できるように努めております。

○災害拠点病院とは？

災害対策基本法に基づいて県知事が指定する病院で、災害発生時に通常の医療体制では適切な医療を提供することが困難と判断された場合に、県知事の要請により傷病者の受け入れ及び搬出、自己完結型の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行う病院です。

○DMATとは？

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT（ディーマット）と呼ばれています。チームは、医師2名・看護師2名・業務調整員（医療職及び事務職員）1名で構成されており、自然災害に限らず航空機事故などの大規模災害や多傷病者が発生した事故現場において、急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練（厚生労働省の日本DMAT隊員養成研修を受講）を受けた医療チームのことです。

現在、当院には日本DMAT隊員が7名（医師3名、看護師2名、業務調整員2名）在籍しており、平時においては、防災訓練（自衛隊補給艦を使用した近畿2府7県合同防災訓練・トリアージ訓練等）への参加、災害医療従事者研修（DMAT技能維持研修・NBC災害テロ対策研修・自衛隊機C-130を使用した広域医療搬送実機研修等）を受講するなど緊急時の出動に備えてチームのスキルアップを図っています。



DMAT隊員

○災害訓練について

災害拠点病院には、地域の医療機関とともに定期的な訓練を実施することが求められており、近隣で災害が発生した場合、医療救護活動を迅速に展開する責務があります。そのため当院は昨年（平成23年12月）に和歌山市消防局、和歌山北警察署、公立那賀病院DMATと連携し、近隣工場での爆発事故を想定したトリアージ訓練（災害が発生すると同時に重症のけが人が多数出ます。そのような時、けが人の重症度・緊急度を考慮して、救出・治療・搬送の優先順位を決めること。）を実施いたしました。



災害訓練の様子

本年は来る10月21日(日)の午前に和歌山市主催で当院を拠点とする「災害医療に関する実地訓練」が行われます。今回の訓練は、傷病者100名を想定し、市医師会をはじめ多数の関係諸機関が参加する大規模な防災訓練となります。見学は自由にできますので、是非この機会に見学されることをお勧めいたします。

当院は、今後も地域住民の皆様方に信頼される災害拠点病院を目指して、地域医療へ貢献できるように取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

（文責 総務課 庶務係長 小谷 芳弘）

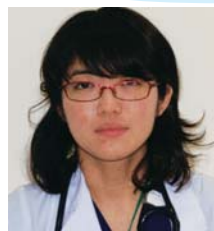
医師紹介

平成23年9月1日以降
に着任された医師をご
紹介します



おがみ まさし
小上 真史
(耳鼻咽喉科)

若輩ですが、一生懸命頑張ります
のでよろしくお願いします。



いむら さり
今村 沙梨
(循環器内科)

和医大より赴任しました。地域
の皆様のお役に立てるよう精一
杯頑張ります。



おおかわ きよみ
大川 記羊美
(眼科)

眼科の大川 記羊美です。4月か
ら勤務させていただくことになり
ました。より充実した医療を目指
します。よろしくお願いします。



てらさわ ひろし
寺澤 宏
(外科)

地域医療に貢献できるよう頑張
ります。よろしくお願いします。



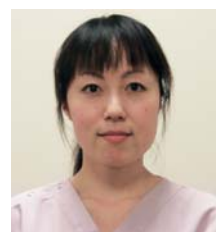
とむら ながつき
戸村 九月
(脳神経外科)

横浜労災病院より来ました脳神経
外科の戸村です。地域医療に貢献
できるよう精一杯頑張りますので
よろしくお願いします。



なかやま よしあき
中山 宜昭
(神経内科)

4月より神経内科で働かせてい
ただくこととなりました。よろ
しくお願い致します。



たなか ゆみ
田中 由美
(呼吸器外科)

呼吸器外科、乳腺外科の専門医
を目指している田中 由美と申
します。よろしくお願いします。



はらだ さや
原田 沙耶
(内科)

7月より内科に赴任して参りま
した。思いやりをモットーに頑
張りたいと思います。よろしく
お願いします。



ふくい だいすけ
福井 大輔
(整形外科)

まだまだ未熟な若輩者で御迷惑
をおかけしますが、御指導よろ
しくお願い致します。



いぐち ともき
井口 智揮
(整形外科)

未熟者で至らないところも多々
あるかと思いますが、ご指導よ
ろしくお願いします。



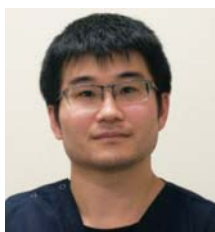
かきもと てつひろ
垣本 哲宏
(消化器内科)

専門は内視鏡診断と治療で、特
に胆膵と大腸を中心にやってい
ます。どうぞよろしくお願いします。



さんだ まりこ
三田 真理子
(消化器内科)

よろしくお願いします。



よだ たけのり
與田 武徳
(消化器内科)

大学病院とは違った地域の中核
病院で、身近にみなさまのお役
に立てることをとてもうれしく
思っております。



しもまつ たつや
下松 達哉
(皮膚科)

あまりお役に立てないかもしれ
ませんが、頑張りますので何卒
よろしくお願いします。



たなか ゆういちろう
田中 友一郎
(臨床研修医)

精一杯頑張りますのでよろしく
お願いします。

呼 吸 器 内 科

呼吸器内科のご紹介

「咳がでる」、「痰がからむ」、「息が苦しい」、「胸が痛い」などの症状は日常の中でごくごく普通にあるものです。呼吸器内科では、そのような患者さんが気管支、肺、胸膜などの“呼吸器”に原因があるのか、または心臓などほかの原因があるのかを見極めたうえ、呼吸器疾患に対しての診断、治療を行っています。1997年より日本気管支学会認定施設、2010年より日本呼吸器学会関連施設に認定されました。

年間外来患者数は約2,000人、入院患者数は約200人で、肺癌、細菌性肺炎、胸膜炎、膿胸、間質性肺炎、気管支喘息、慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群などの疾患を、外来または入院にて診療しています。また週に2度、呼吸器外科との合同カンファレンスを行い、呼吸器外科との連携を密にしています。

レントゲン検査、CT検査などの画像検査、睡眠時無呼吸症候群に対するアプノモニター検査のほか、内視鏡検査・治療にも力を入れています。気管支鏡検査を年間約200件実施し、肺癌や各種感染症、間質性肺炎のようなびまん性肺疾患などの診断に役立てているほか、内視鏡的治療としてマイクロ波を用いた止血や気道拡張、各種ステントによる気道確保を各種疾患に応用しています。さらにEBUS（気管支腔内超音波断層法）を用い、縦隔リンパ節などの針生検、吸引細胞診を施行しています。また局所麻酔下胸腔鏡検査による、胸膜疾患の診断、また膿胸の治療にも応用しています。

呼吸器内科にて診療を行う主な疾患についてご紹介します。

①肺 癌

最近、患者さんの数が増えている疾患です。治療方法、使用される薬剤も進歩しています。

患者さんには原則的に本人に病名を告知のうえ、病状を詳しく説明し、患者さん、ご家族同意のもと治療方針を決定しています。手術治療が適応となる患者さんには当院呼吸器外科を紹介しています。

②細菌性肺炎

呼吸器疾患のなかでもっとも頻度の高いものの一つです。外来または入院にて治療を行います。肺炎の治療にとどまらず、その後の肺炎になりにくい方法についても説明しています。

③呼吸不全

各種疾患にて出現する急性呼吸不全には人工呼吸器、各種モニタリングシステムを配したICUや重症個室にて厳格な全身管理、集中治療を行っています。

また慢性閉塞性肺疾患（肺気腫）、結核後遺症、塵肺などによる慢性呼吸不全には在宅酸素療法を推奨し、現在当院通院患者さんは約20人いらっしゃいます。

④睡眠時無呼吸症候群

社会的に広く認知されるようになってきた疾患です。放置していると狭心症などの心疾患や脳卒中などの危険性が上がるといわれています。耳鼻咽喉科と連携し、アプノモニター検査にて睡眠時無呼吸症候群の程度を見極め、治療必要な患者さんには非侵襲的陽圧呼吸装置を導入しています。

医師のご紹介

細 隆信 呼吸器内科部長

現在治療中の肺がん患者さんのほとんどが、近隣開業医先生からの紹介です。

予後を改善するためには早期の発見が重要です。開業医先生はじめ皆さまのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医
日本医師会認定産業医
インфекションコントロールドクター

辰田仁美 第2呼吸器内科部長

先日、呼吸器専門医不在の地域は喘息や肺炎の死亡率が高い（地域によっては約3倍）という記事がありました。この地域での医療に貢献できればと思います。

資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本医師会認定産業医

庄野剛史 呼吸器内科医長

最近の医療の進歩は目覚ましく、新しい治療法や新薬が次々と登場しています。また、長年積み重ねられた実績のある治療法、薬剤も無数にあります。これらをじっくりと検討し、よりよい医療を提供すべく、努力していきたいと考えています。

資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医

玉置真也 呼吸器内科医長

最近の高齢化社会に伴い、近隣の老健施設からの肺炎患者さんの紹介入院も多くなっています。入退院の際には施設囑託の先生方とも連携を取り、よりよい医療を行えればと考えています。

資格：日本内科学会認定内科医



左から玉置先生、細先生、辰田先生、庄野先生

病院からのお知らせ

平成24年度 和歌山労災病院 市民公開講座・災害医療シンポジウムの開催について



講演（１）
**「和歌山労災病院
DMAT活動の現状」**

講 師
和歌山労災病院脳神経外科
吉村 良 先生



講演（２）
**「災害時医療に対する
和歌山市の取り組み」**

講 師
和歌山市保健所長
永井 尚子 先生



特別講演
「津波災害時の医療と今後の課題」

—被災地開業糖尿病専門医の立場から—

講 師
盛岡大学栄養科学部教授 前岩手県宮古市長
熊坂 義裕 先生

平成24年6月23日(土)午後14時より、院内2階大会議室にて市民公開講座・災害シンポジウムが開催されました。定員100名のところ参加者は120名に上り、部屋に入り切らなかった参加者は、1階エントランスに設営したモニターにて講演を聴講しました。災害時医療に対する関心の高さがうかがえました。

今回の講演では、3名の講師がそれぞれ和歌山労災病院・和歌山市・被災地の災害時医療の現状について講演し、その後聴講者を交えての討論会が行われました。特に、前宮古市長・盛岡大学栄養科学部教授の熊坂 義裕先生の講演では、被災地には糖尿病などの慢性疾患に対応できるDMATが必要であると、当事者ならではの視点による解説が好評でした。

今回の講演において、来場者の多くの方々から大変参考になったというご意見を頂きました。



多くの参加者が集まった大会議室の様子

「かかりつけ医」のご紹介 No.34

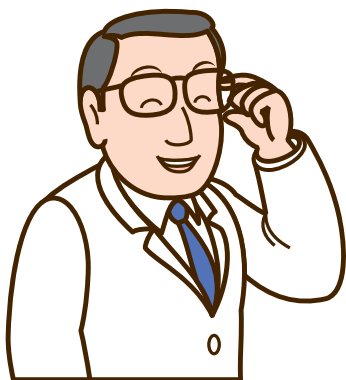
和歌山労災病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

いしぐちクリニック

- 診療科目 内科 消化器内科 胃腸内科 小児科
- 住所 〒640-8403 和歌山県和歌山市北島453-1
コンプラベルデ1F
- 電話 073-452-7000



いしぐち ただし
石口 正 先生



石口 正先生は、平成19年3月1日に和歌山市北島のガンデンパークに『いしぐちクリニック』を開院されました。

開業以来「あなたの町のかかりつけ医」をモットーに、地域住民の健康を守るホームドクターとしてご活躍されています。一般的な病気から現代病とも言われる高血圧、糖尿病、高脂血症や生活習慣病（メタボリックシンドローム）の問題にも応じ、内視鏡専門医として治療を行っています。内視鏡の苦痛軽減のため最新の機器を備え、胃カメラ及び大腸カメラを行い、専門的治療を駆使し患者さま本位の迅速な診療を心がけています。

胃・大腸がん病気の早期発見と正確な診断を行い、また「日帰り大腸ポリープ手術」を実施して、より適切な治療を早期に行っています。

このような現状の中で『いしぐちクリニック』は患者さまに安心して適切な診療と正確な医療情報を提供でき、常に医療サービスの向上と地域医療の発展に貢献されておられる医療機関であります。

また、和歌山労災病院は平成23年7月に「和歌山県がん診療連携推進病院」として指定を受け、がん診療体制の整備充実が日々邁進しているところですが、石口 正先生はいち早く連携医として登録を頂き、退院後の治療を石口

正先生と共に総合的に管理することにより患者さまに安心した治療を提供しております。今後、地域住民への医療と健康を提供し続ける上で、和歌山労災病院が欠かせない重要な連携医療機関（パートナー）のおひとりです。

和歌山ろうさい病院（外来診療科担当医一覧表）

平成 24 年 8 月 1 日現在

診 療 科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	
内 科	A	①番	山本 康久	原田 沙耶	山本 康久	中尾 隆太郎	山本 康久	
		②番	中尾 隆太郎	増井 由毅	中尾 隆太郎	原田 沙耶	増井 由毅	
		③番	—	南條 輝志男	—	—	—	
神 経 内 科		⑪番	石本 進士	石本 進士	吉田 宗平	石本 進士	石本 進士	
血 液 内 科		⑭番	—	中山 宣昭	—	—	—	
		⑩番	阪口 臨	栗本 美和	当番医	阪口 臨	—	
呼 吸 器 内 科		⑤番	細 隆信	細 隆信	藤田 篤代	細 隆信	庄野 剛史	
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	玉置 真也	辰田 仁美	玉置 真也	
循 環 器 内 科		—	—	—	—	—	—	
		⑧番	大河内 啓史	当番医	林 泰	当番医	九鬼 新太郎	
		⑨番	新患診	—	西尾 はるひ	—	今村 沙梨	
脳 神 経 外 科		⑫番	寺田 友昭	新谷 亜紀	寺田 友昭	当番医	岡田 秀雄	
		⑬番	岡田 秀雄	当番医	新谷 亜紀	—	河野 健一	
		⑭番	戸村 九月	—	吉村 良	—	田中 優子	
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼 吸 器 外 科		③番	—	前部屋 進自	—	田中 由美	前部屋 進自	
女 性 専 用 外 来 (完 全 予 約 制)	D	午後 【予約制】 A⑦番 D⑫番	第1・2・3・4週 婦人科・乳腺外来 藤野 久仁子	第2週 婦人科外来 柳川 百世	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	—	
		—	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1週 漢方外来 松本 朋子	第4週 漢方外来 神人 美穂子	—		
消 化 器 内 科	B	⑪番	安田 祐子	原 猛	原 猛	原 猛	安田 祐子	
		⑫番	三田 真理子	安田 祐子	三田 真理子	内視鏡センター診 垣本 哲宏	垣本 哲宏	
		⑬番	—	—	—	—	当番医	
外 科		⑦番	小林 康人	乳腺 落合 実	胃・大腸 落合 実	肝・胆・脾 小林 康人	上部消化管 山本 基	
		⑧番	山本 基	寺澤 宏	那須 亨	那須 亨	寺澤 宏	
		⑨番	—	—	—	水本 有紀	—	
整 形 外 科		—	—	—	—	緩和ケア・NST外来(寺澤)	—	
		③番	佐々木 俊二	脊椎センター診 安藤 宗治	手外科診 峠 康	スポーツ整形診 佐々木 俊二	安藤 宗治	
		④番	峠 康	坂田 亮介	松本 卓二	松本 卓二	関節リウマチ診 坂田 亮介	
		⑤番	当番医	福井 大輔	福井 大輔	神埜 聖治	神埜 聖治	
		—	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
小 児 科		C	⑨番	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子	青柳 憲幸	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子
			⑩番	大元 浩明	小森 有紀	檜皮谷 朋子	大元 浩明	小森 有紀
			特診⑨	小森 有紀	—	大元 浩明	青柳 憲幸	宮代 英吉 【再診のみ】
			特診⑩	大元 浩明	青柳 【予防接種】	檜皮谷 朋子	1・3週 心エコー 根来 博之	—
			—	—	—	—	—	—
泌 尿 器 科	①番		上門 康成	森 喬史	休 診	上門 康成	休 診	
	②番		山下 真平	山下 真平		森 喬史		
耳 鼻 いんこう 科	D		⑤番	横山 道明	休 診	森山 智美	横山 道明	小上 真史
			⑥番	小上 真史		ベデル レヴェント	森山 智美	ベデル レヴェント
			⑦番	土橋 重貴		—	—	—
		午後 予約	—	休 診	—	第1・3週 睡眠時無呼吸外来 当番医	—	
		—	—	—	—	第2・4週 補聴器外来 当番医	—	
		皮 膚 科	①番	中村 智之	休 診	中村 智之	中村 智之	中村 智之
			②番	下松 達哉		下松 達哉	下松 達哉	下松 達哉
午後 予約			—	学童外来 中村 智之		—	—	
産 婦 人 科		⑩番	—	当番医	—	—	—	
		⑫番	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	尾谷 功	
	⑮番	谷本 敏	尾谷 功	藤野 久仁子	谷本 敏	藤野 久仁子		
	午後 予約	谷本 敏	—	—	谷本 敏	—		
	—	—	—	—	母親教室 (予約制)	—		
眼 科	E	⑤番	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美	休 診	大川 記羊美	
		⑥番	当番医	当番医	当番医		当番医	
		午後 予約	—	—	—		第1・3・5週 コンタクト (予約)	
リハビリテーション科		1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	
放 射 線 科		2診	当番医	峠 康	—	—	—	
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
専 門 外 来		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	
		健診センター 【予約制】	禁煙外来 庄野 剛史	禁煙外来・肥満・ストレス外来 山本 康久	—	禁煙外来・肥満・ストレス外来 山本 康久	—	

(注1)

- 小児科は、予約者を対象に午後から専門外来を行っています。
- 耳鼻いんこう科の毎週火曜日、泌尿器科の毎週水・金曜日、眼科の毎週木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日の14時～16時です。(予約制)
- 助産師外来は、毎週火曜・木曜の9時～15時です。(予約制)
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時です。
- 糖尿病教室は、週1回の開催です。開催日については、内科外来までお問い合わせください。
- 女性専用外来・専門外来は、完全予約制となっております。
お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号 (451-3303) までお申し込みください。

8. 各診療科の専門外来については、病院代表番号 (451-3181) を通じて各専門外来までお問い合わせください。

(注2)

- セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター地域医療連携室の直通番号 (451-3186) までお問い合わせください。
- は、手術日を示しています。

お問い合わせは **和歌山ろうさい病院 医事課** TEL.073-451-3181(代) FAX.073-451-3788(医事課直通)